

## 集会参加費

参加費①4000円 教職員・教職員OB(2日以上参加) うち記録集代1000円  
 参加費②3000円 保育士・父母一般(2日以上参加) うち記録集代1000円

参加費③1500円 1日のみの参加者(記録集なし) 記録集を希望する方は+1000円

※学生・院生の参加費は無料とします。記録集を希望する学生・院生は+1000円

## 申し込み集約期間

第一次 2022年7月07日(木) 宿泊参加者は可能な限り第一次集約日まで申してください。  
 第二次 2022年7月17日(日) 開催2週間前の集約日です。

第三次 2022年7月31日(日) 最終申込集約日です。この日以降の宿泊予約変更にはキャンセル料が生じます。

## 宿泊について

宿泊会場は全体会場になる「天童温泉 美味求心の宿 天童ホテル」です。  
 山形県天童市鎌田本町2-1-3 電話023-654-2211

宿 泊 一泊二食12000円 朝食及び夕食付(消費税、入湯税込)  
 二泊四食24000円 同上

※家族またはひとり部屋を希望する場合は加算料金となります。

昼 食 弁当販売を行います(集会申込時にご注文ください) 会場周辺にも飲食店が多数あります。

## その他の留意点

- 受付は天童ホテルロビーです。受付を必ず済ませてから各会場へ移動ください。
- 駐車場は天童ホテル駐車場となります。「県青年の家」会場は駐車場に限りがあるので、乗り合いか、ホテルからの定時送迎を予定しています。
- 今集会では学童・幼児保育を実施しません。
- 本合同研究集会への問い合わせは各県民教連事務局か、現地(山形)実行委員会事務局へお願いします。

山形県民教連事務局	山形県教組山形地区支部	電話：023-631-2112
天童集会実委会事務局	東海林 仁	携帯：080-1837-8101

## 参加申込表

氏名	職場or所属サークル	連絡先(携帯)	Emailアドレス(お持ちの方)
参加分科会①【分科会を記入】		記念講演【参加は○を記入】	宿泊申込【申込日に○を記入】
参加分科会②【分科会を記入】		特別分科会【番号記入】	家族・1人部屋【希望者は○】
参加分科会③【分科会を記入】		2日目昼弁当【注文は○を記入】	7日・8日

上記内容を記入し、FAX・メール・封書等でお送りください。(期間厳守にて)

参加申込表送り先：〒990-44 山形市木の実町12-37 大手門パルズ5F

県教組山形地区支部内 山形県民教連事務局 東海林 仁 宛  
 FAX：023-631-2126 Email：papas59.shoji94@gmail.com

山形県民教連情報はWEBやFacebookでもご覧いただけます！  
 WEBページは「山形県民教連ホームページ」で検索可 Facebookは「山形県民教連フェイスブック」で検索可

# 東北地区民間教育研究団体合同研究集会 第69回天童集会参加要項

後援：山形県教育委員会 山形市教育委員会 天童市教育委員会 上山市教育委員会  
 山辺町教育委員会 中山町教育委員会 山形県PTA連合会  
 全山形教職員組合 山形県教職員組合山形地区支部

おまたせしました。前回2019年岩手花巻集会以来3年ぶりの対面開催です。山形県の感染症予防ガイドラインに則り実施します。みなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

## 基調テーマ

### 北方教育の遺産を継承し国民教育の創造をめざそう

- やさしい言葉で深い思想を、地域の現実のより深い把握を -

## 天童集会テーマ

### 子どもも先生も親も楽しい学校を創造しよう

- 子どもが「おがる」学校を -

- (1) 真実を見つめ、地域に生きる子どもを育てるための学校の働き、教育の役割をあらためて問い直し、実践を創造していこう。
- (2) 憲法と平和を脅かし、地域と教育を荒廃させる反動的な動きに抗し、東北民教研運動に学び、一人ひとりの豊かな成長を保障する教育を追究しよう。
- (3) 東日本大震災・原発問題から10年、復興はどこまで進んできたか、あるいはどうして進んでいないのかを明らかにしよう。
- (4) 市場化の進む教育活動と超勤過密労働に歯止めのかからない教育現場の中で、自主的で人権感覚あふれる実践と運動を追究しよう。
- (5) 子ども・青年の生活台の現実をより深くとらえ、父母や地域住民とともに地域から日本や世界を多角的にとらえ直そう。
- (6) 各県・各サークルの横のつながりと充実を図り東北民教研運動の着実な広がりをつくろう。



## 集会期間

2022年8月7日(日) ~ 8月9日(火)

## 集会日程・会場 天童ホテル 山形県青年の家

### 7日(日)

12	13	14	17	17:30	19:30
実行委員集合 会場準備10:30	受付	開会 行事	分科会① 入門・実践講座	休憩 移動	夕食
					天童集会運営委員会 各県代表者 分科会責任者

### 8日(月)

9	12:30	13:30	15:30	17:30	18
分科会② 入門・実践講座	昼食	記念講演	特別分科会	休憩 移動	夕食・交流 次期開催県(青森)引継式

### 9日(火)

9	11	12
分科会③	実行委員 会場最終点検 12:00	

「山形県青年の家」が会場となる分科会(内履きを持参ください)  
 \*生活指導と教育  
 \*理科と教育  
 \*生活科・総合学習と教育  
 \*音楽と教育(8日・9日)

お申込みは  
お早めに!

# 記念講演 会場：天童ホテル・コンベンションホール



講師 内田 樹さん

## 複雑化の教育論 (仮題)

教育とは何か？成熟とはどのような過程なのか？子どもたちに何を手渡すのか？予測困難といわれる時代に、私たち教育にたずさわる者がなすべき使命とは？内田先生といっしょに考えていきましょう。

…複雑化したからと言って、子どもは「昨日より幸福になる」わけでもないし、「昨日より自由になる」わけでもないし、「昨日より強くなる」わけでもありません。長期的に見ればそうなる確率は高まるのですけれども、即席な効果は期待できません。複雑化した子どもはただ「昨日より複雑になる」だけです。でも、そういう複雑化のプロセスを連続的に繰り返す以外に子どもたちが成熟する道筋はありません。だから、教師も親も、周りの大人たちは決然として子どもの複雑化を支援するという立場を選び取る必要がある。僕はそう考えています。

複雑化の教育論—はじめに—より

思想家、武道家、神戸女学院大学名誉教授  
 東京大学文学部仏文科卒 都立大学院博士課程中退  
 専門：フランス現代思想 武道論 教育論 映画論など。  
 神戸凱風館館長 多田塾甲南合気会師範  
 近著書  
 『複雑化の教育論』東洋館出版社2022.1.28  
 『撤退論』内田樹編晶文社2022.4.25 内田樹ほか15著者

## 分科会

会場：天童ホテル及び山形県青年の家

No.	分科会名	開催日	分科会テーマ	講座・ワークショップ・実践レポートの分析の内容
1	国語と教育	7・8	子どもたちを日本語のすぐれた担い手に (実践講座7日・模擬授業7日)	・実践講座「文学教材の読み」を通して子どもに育てたい国語の力 (岩城・山形) ・模擬授業「芭蕉に学ぶ俳句づくりの授業」 (佐賀井・山形) ・小1「くじらぐも」の実践報告(福島) ・小6「川とノリオ」の実践報告(山形)ほか
2	作文と教育	7・8・9	子どもの内面に寄り添い、生活を見つめ、事実をありのままに書き綴ることを通して、人間らしい感性や生き方を育てる生活綴り方・作文教育の実践はどうあればよいか	・基調報告「コロナ禍の2年と作文教育・生活綴り方」(7日) (鳥内・秋田) ・実践報告と討論「新たな視点で」 中学校(近野・山形) (ほか福島、宮城、岩手の実践から)
3	外国語と教育	7・8・9	授業づくりのレシピ	・実践講座「生徒の自立を促す授業づくり」(7日) (桑原・宮城) ・実践報告「発音と音読」単音の学習を土台に作品の音読へ ・実践報告「文学作品の読み取り」Katherine Mansfield「TheGarden-Party」(園遊会)から段落や語りの構造等を探る
4	社会科と教育	7・8・9	コロナ禍での“あたらしい社会科教育”を創る	・実践講座「普段着の平和教育の方法」(7日) (田口・山形) ・実践報告「プーチンのウクライナ侵略戦争2.24」 (今野・山形) ・実践報告「旧山高社研部の活動」 (佐藤・山形)
5	算数・数学と教育	7・8・9	わくわくする算数・数学の授業をつくらう	・教員づくり講座「“5”を缶詰にしたら世界が広がる」新バタバタマイル (7日)「新しい量の発見」平均水櫃 ・実践報告「子どものつまづきを知る」学習塾 (今野・山形) ・実践報告「教材を見つめ直す」小学校 (山川・山形) ・実践報告「わくわくする授業づくり」小学校 (早坂・山形)
6	理科と教育	7・8・9	子どもも教師も楽しく学ぶ理科学習をめざして (ワークショップ7日) (実験紹介7日) (理科巡検は9日)	・ワークショップ「楽しいものづくり」 (岩間・岩手) ・実験紹介「百均で空気中の質量測定」ほか多数 (岩間・岩手) ・実践報告「慣性の法則と地動説」(高橋・岩手) ・実践報告「福島の再生可能エネルギー計画と問題」 (佐原・福島) ・パネル展示「“原発の困りもの”をどうするか？」 (岩間・岩手) ・理科巡検「ジャガラモガラ風穴の逆転植生分布」 (鬼島・山形)
7	音楽と教育	8・9	音楽は生きる力ー歌おう！かたろう！子どもと音楽の話	・実践講座「子どもが憧れ・喜び・育つ歌やリズム表現」を学び合います。運動できる服装、靴(内履)で参加を。(8日・9日) ・実践報告「あしぐる保育園の子どもたちとの歌・リズム」 (日食・宮城) 参加者から提供された実践テープの聞き合いと分析を行います。
8	美術と教育	7・8	「生活を見つめ、思いを表現する絵」を柱とする実践研究を進める。ー北方性教育の遺産の現代的継承を進めながら、真に子どもたちの生活や地域に根ざした実践研究を進めていきましょうー	・実践講座「生活表現を育むために」ー生活表現の意義・課題と実践のあり方ー (7日) 神吉 脩(兵庫・豊岡短大教授) ・実践報告「日々の生活の中から生まれた子どもたちの表現活動」 保育園5歳児(大堀、佐藤・福島) ・実践報告「風景画(水彩)」 中学校(田中・山形) ・実践報告「少年院の授業・表現コラボ展」 (関・宮城) ・実践報告「岩手からの実践報告」 (小or中教員・岩手)
9	身体と教育	8・9	子ども・青年のからだと心の現状を探り、身体と運動文化の主人公に育てる実践の創造	・サブテーマ「子どもたちと共に希望ある未来を創造していくために」 ・実践報告「子どもたちをつなぐ体育の授業をめざして」 小学校(山口・宮城) ・実践報告「水泳前の保健指導」 特別支援校(澤村・山形)
10	生活指導と教育	7・8・9	どの子ども大切にされる学級をつくらうーコロナ禍を乗り越える学級集団づくりー	・実践講座「楽しい学級づくり入門」(7日) (設楽・山形) ・実践報告「困っている子ども居場所のある学級集団づくり」小中学校(各県から)

11	高校生と教育	7・8・9	教員や生徒の「生きづらさ」はどこにあるのか？	・実践講座「学級通信入門ー通信でクラスを変えるー」3年間毎週発行した学級通信が生徒を、クラスをどう変えていったか？ ・事例検討「生きづらさ」を生む「部活」「校則」に焦点を当て、実態や取り組みを参加者のみなさんと交流しましょう。 高生研機関誌「高校生活指導」掲載レボから高校生が抱える「生きづらさ」を読み解きましょう。(庄司・山形)
12	障がいのある子と教育	7・8・9	障がいのある子どもに生きる力と豊かな発達保障を求めて	・模擬授業「どうつくる？特別支援学級の授業」(7日) (酒井・山形) ・実践講座「有効な教育相談のすすめ方」(7日) (酒井・山形) ・事例検討「子どもの実態をどうとらえ、どう支援するかを考える」 ・実践報告「地域小児科診療における発達支援の可能性ー公認心理師の役割を通してー」 (酒井・山形) ・実践報告「仮題：特別支援学級の日常から」 (本間・山形)
13	学校と教育	7・8・9	子どもの夢と希望を育む学校づくりを父母・地域とともにーコロナ禍の中の学校づくりー	・実践報告「仮題：剥ぎ取られた教育の魅力を再び教職員と学校に取り戻そう」(一戸・青森) ・実践報告「仮題：休日部活動の地域移行は希望するどの子ども気兼ねなく生き生き参加できる組織づくりを」 (五十嵐・山形)
14	国民教育運動	7・8・9	東北6県の地域の子育て、教育文化協同の取り組みを語る	・実践報告「首長選から見た階上町のくらし」 (寅谷・青森) ・実践報告「水道民営化と病院統廃合の問題」 (寅谷・宮城) ・実践報告「天童将棋教室の活動」ー保護者とのつながりを求めてー (櫻井・山形) ・実践報告「岩手における学校統合をめぐる動き」 (菅野・岩手)
15	生活科総合学習と教育	7・8・9	地域にねざし、子どもの発達を保障する生活科・総合学習の創造的実践	・実践講座「知りたいこと、やってみたくいこと、なんですか？」(全日程) (吉田・岩手) 草花あそびや草木染め、グルメ雑草の食し方、よもぎ餅づくりなど子どもたちが目を見張り歓声をあげるような体験づくりと気づきの発見を子どもの目線で体験してみましょう。 ・実践報告と話し合い(各県から)
16	不登校ひきこもりと教育	7・8・9	コロナ禍が助長したストレスや不安から子どもの居場所をつくるには…	・実践報告「学校内の居場所づくり」 (NPO法人ぶらいず相談役 松井・山形) ・実践報告「不登校・ひきこもり支援団体のとくくみ」 (NPO法人クローバーの会@やまがた代表 樋口・山形) 実践事例をもとに学校・家庭・地域でできることを考えていきましょう。

## 特別分科会

会場：天童ホテル

No.	特別分科会テーマ・報告内容	報告者・司会・記録
1	<b>震災学習から伝承活動へーきずなFプロジェクトの7年ー</b> 2015年4月に宮城県七ヶ浜町立立向洋中学校に入学した子どもたちの6年あまりの学びと成長の記録。語り部や紙芝居を通して自己肯定感を膨らませていった若者たちの物語を写真と動画を使ってお話しします。	報告：瀬成田実(宮城) 司会：竹内一馬(宮城) 記録：山川貴子(山形)
2	<b>原発事故を問い、子どもの考えを受け止め、社会の主体者を育てる</b> これから生きる子どもたちが直面する問題と課題に対し、科学的な真実をどのように伝えていくのか、子どもの声に耳を傾けながら取り組んできた授業実践の報告です。	報告：黒澤和美(福島) 司会：坂井 聡(福島) 記録：田口忠宣(山形)
3	<b>コロナ禍で増した子ども・教員の息苦しさはどう向き合ってきたか</b> 「教員のなり手不足」が全国で問題になっています。その理由は「ブラックな働き方」となりがちですが、それは「教育の魅力」をはぎ取られた結果だと思っています。子どもが、教職員が安心して成長できる学校をつくるため交流します。	報告：一戸義規(青森) 中 順子(岩手) 司会：大内国芳(岩手) 記録：後藤美子(山形)
4	<b>地域と学校のかかり合いを考えるー学校統廃合や学校運営協議会制度はいまー</b> ここ20年間で、学校数がおよそ半数になるまで統廃合が進んだ。統廃合による子ども、教員、地域への影響について秋田からの報告と、ここへ来て急速に設置がすすむ学校運営協議会(コミュニティスクール)の現状と課題について山形から報告をもとに、各県の状況を交流します。	報告：小南 哲(秋田) 鬼島悦雄(山形) 司会：早坂久佳(山形) 記録：岡崎貴司(山形)
5	<b>教員不足の解消と大幅増員を求めるー新たな少人数学級実現をめざしてー</b> コロナ感染症の広がり、不登校・いじめ増加の中で少人数学級を求める切実な声を15000筆の署名に集約。国に対し30人学級を求める意見書提出の請願運動を展開。県議会を含む27自治体(75%)で採択された運動の教訓から学びます。	報告：堀野広一(山形) 司会：金山 透(山形) 記録：本間 恵(山形)
6	<b>北方教育のかがり火を灯し続けてー鈴木輝男・不撓不屈の足跡をたどるー</b> 日教組第15回和歌山大会は山形修正案の「戦争教育の記録運動」を可決した。その後、各県で戦争と教育の反省記録がまとめあげられ「学校白書と戦争教育の記録」として発刊されるに至る。この運動の起点は鈴木輝男が盟友の坂本源原らと共に始めた「生活記録運動」にありました…。	報告：雨田秀人(山形) 司会：東海林仁(山形) 記録：近野享子(山形)



所属される職員組合等には自主研修への補助制度があります。組合員の方は参加費収書を所属組合にお持ちください。

主催 第69回東北北教研天童集会実行委員会  
 山形県民間教育研究団体連絡協議会 青森県民間教育研究団体協議会  
 秋田県民間教育研究団体連絡協議会 福島県民間教育研究団体協議会  
 宮城県民間教育研究団体連絡協議会 岩手県民間教育研究団体連絡協議会